NTT docomo

ワイドスターマルチアダプタセット
取扱説明書

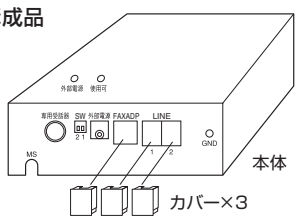
・ご使用の前に必ず、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

・本取扱説明書の本文中においては、「ワイドスターマルチアダプタ」を「マルチアダプタ」または「本製品」、「ワイドスターマルチアダプタ専用ACアダプタ」を「ACアダプタ」、「衛星可搬端末01」および「衛星船舶・車載端末01」を「衛星端末」、「衛星ハンドセット01」を「ハンドセット」、「衛星FAXアダプタ01」を「FAXアダプタ」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

・ご使用の衛星端末およびオプション品が対応機種であることをご確認ください。また、ご使用前に、衛星端末およびオプション品の取扱説明書をあわせてご覧ください。

商標について
「ワイドスター」はNTTドコモの登録商標です。
「ナンバー・ディスプレイ」はNTT東日本・NTT西日本の登録商標です。

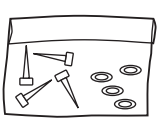
構成品



本体

カバー×3

ACアダプタ



木ネジ×4
ワッシャ×4

目次

・安全上のご注意（必ずお守りください） … 2
・取り扱い上のご注意 …… 7
・特長 …… 8
・各部の名称 …… 8
・ご利用になる前に ……10
・音声通話する …… 11
・FAX通信する …… 13
・LINE端子の機能設定 …… 15
・短縮ダイヤル機能 …… 17
・設定の初期化 …… 18
・DIPスイッチ3の機能 …… 19
・定格／仕様 …… 20

安全上のご注意（必ずお守りください）

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

●ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

●次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

●次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁　止	**禁止（してはいけないこと）を示します。**
分解禁止	**分解してはいけないことを示す記号です。**
濡れ手禁止	**濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。**
水濡れ禁止	**水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。**

指　示	**指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。**
電源プラグを抜く	**電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。**

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

マルチアダプタ、ACアダプタの取り扱い（共通） …… 4

マルチアダプタの取り扱い …… 6

ACアダプタの取り扱い …… 6

マルチアダプタ、ACアダプタの取り扱い（共通）

⚠危険

禁 止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
機器の変形、故障、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

指 示

衛星端末およびオプション品はNTTドコモが指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、本体やその他の機器を発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
衛星可搬端末 01、衛星船舶・車載端末 01、衛星ハンドセット 01、
衛星FAXアダプタ 01、ワイドスターマルチアダプタ専用ACアダプタ：NP12-US1210
※その他互換性のある商品についてはドコモ ワイドスターコールセンターまでお問い合わせください。

⚠警告

禁 止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、本装置を入れないでください。
機器の発熱、発煙、発火や回路部品を破損させる原因となります。

禁 止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
機器の故障、火災の原因となります。

禁 止

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

指 示

使用中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
・電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
・衛星端末の電源を切る。
・電池パックを衛星端末から取り外す。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

雷が鳴り出したら、本装置には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜き、衛星電話および本製品の電源を切ってください。
感電、発煙、火災の原因となります。

高温の環境、または低温の環境で使用している際は直接製品に手を触れないでください。
火傷や凍傷になる場合があります。

コンセントにアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火傷や凍傷になる場合があります。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業等を行ってください。
・電源プラグをコンセントから抜く。
・本体の電源を切る。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

⚠注意

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

マルチアダプタの取り扱い

⚠警告

本製品をFAXアダプタに接続する場合は、FAXアダプタのFAX端子と本製品のFAXADP端子をモジュラケーブル（市販品）で接続してください。
本製品のLINE1端子またはLINE2端子とFAXアダプタのFAX端子を接続すると、器機の故障、火災の原因となります。

濡れた手でモジュラーケーブルに触れないでください。
感電の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本製品を使用しないでください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

ACアダプタの取り扱い

⚠警告

濡れた手でACアダプタ、電源コード、電源プラグ、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

ACアダプタや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、発煙、火災の原因となります。

傷んだら使用しないでください。
感電、発煙、火災の原因となります。

取り扱い上のご注意

●水をかけないでください。
本製品は防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

●エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

●極端な高温、低温は避けてください。
温度は−20℃〜 60℃、湿度は45%〜 85%の範囲でご使用ください。

●一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　VCCI−A

●本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

●外部接続端子にプラグを斜めに差したり、またプラグを差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

●未使用のモジュラージャックは、カバーをはめた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

●本製品を衛星可搬端末01と接続して使用する場合は必ずACアダプタを併用して下さい。
ACアダプタを併用しないで使用されますと故障の原因となります。

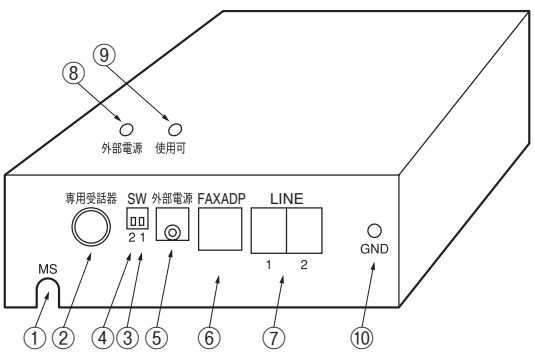
●ACアダプタは指定品をお求めください。お求めの際はACアダプタのプラグの仕様をご確認ください。
プラグはEIAJクラス4のものをお求めください。プラグ仕様が異なりますと本製品と接続することができません。

■ACアダプタ ＜型番：NP12−US1210　EIAJ4プラグ仕様＞

特長

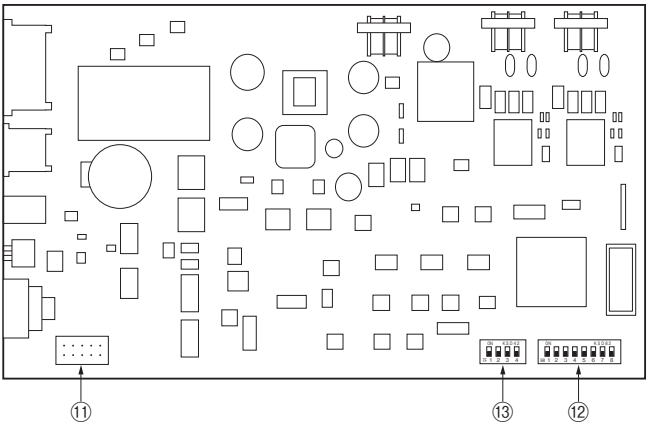
●LINE端子にアナログ電話機を繋いで音声通話が可能です。
●LINE端子にG3 FAX機を繋いでFAX通信と音声通話が可能です。
●本装置にあらかじめ短縮ダイヤルを登録できます。
　LINE端子に繋いだアナログ電話端末から、短縮ダイヤルで発信できます。

各部の名称



No	表示	説明
①	MS	電話ケーブル（衛星端末オプション品）の引き込み穴
②	専用受話器	ハンドセットを接続する端子
③	SW1	衛星端末の電源制御スイッチ
④	SW2	設定モードスイッチ
⑤	外部電源	ACアダプタを接続する端子
⑥	FAXADP	FAXアダプタと接続する端子
⑦	LINE	アナログ電話端末と接続する端子
⑧	外部電源	外部電源供給時に点灯するランプ
⑨	使用可	衛星端末が使用できる時に点灯するランプ ※設定モード中は点滅します
⑩	GND	接地端子

基板面



No	表示	説明
⑪	J2	電話ケーブル（衛星端末オプション品）を接続する端子
⑫	SW3	マルチアダプタの機能を設定するDIPスイッチ
⑬	SW4	常にOFFでご使用ください

●DIPスイッチの初期設定

SW4

SW3

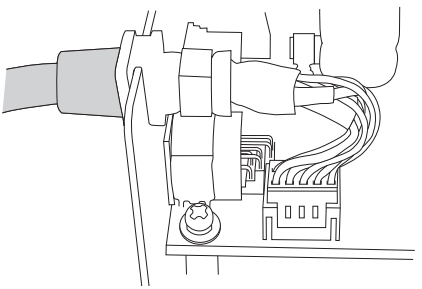
ご利用になる前に

※このページの作業は設置工事業者に依頼してください。

①本体上部ケースを留めている小ネジ４本を外し、ケースを開けます。

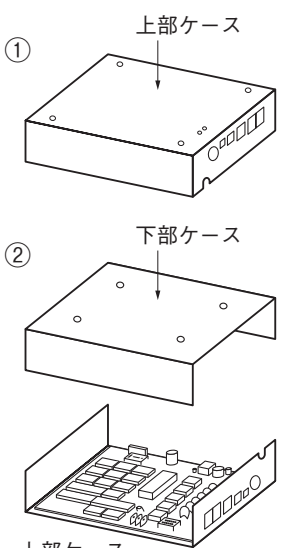
②J2端子に、図のように電話ケーブル（衛星端末オプション品）を取り付けます。

J2端子の場所は9ページの図を参照してください。



③ケースを元に戻し小ネジで留めます。

壁にかけて使うとき

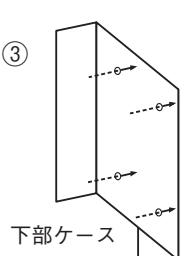


①本体上部ケースを留めている小ネジ４本を外します。

②本体を上部ケースと下部ケースに分離します。

③下部ケースを添付の木ネジ４本にて取付面に固定します。

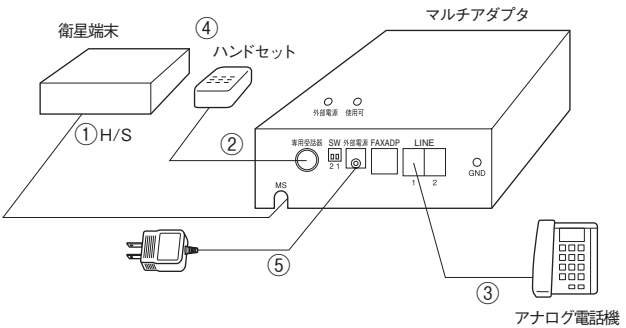
④ケースを元に戻し小ネジで留めます。



音声通話する

※以下は、設定が工場出荷時状態の場合の説明です。

接続図



準　備

衛星可搬端末01と接続して使用する場合、マルチアダプタに必ずACアダプタを接続してください。ACアダプタを接続しないで使用されますと故障の原因となります。
衛星船舶・車載端末01と接続して使用する場合はACアダプタが必要となる場合があります。詳しくは販売担当者とご相談ください。

①マルチアダプタに取り付けた電話ケーブルを衛星端末のH/S端子に接続します。

②マルチアダプタの専用受話器端子にハンドセットを接続します。
（ハンドセットがなくてもアナログ電話機による音声通話は可能です。）

③マルチアダプタのLINE1端子にアナログ電話機を接続します。

④可搬端末の場合は衛星端末またはハンドセットの電源スイッチをONにします。船舶・車載端末の場合は衛星端末の電源スイッチをONにします。

⑤マルチアダプタの外部電源端子にACアダプタを接続します。ACアダプタをコンセントに接続します。

発信操作

使用可ランプが点灯中にアナログ電話機の受話器を上げ、ダイヤルすると発信します。
ハンドセットからの発信操作方法は、衛星端末の取扱説明書をご参照ください。

着信操作

着信が来ると、ハンドセットとアナログ電話機のベルが鳴ります。
ベルが鳴っている、ハンドセットで電話を受けるか、アナログ電話機の受話器を上げると通話できます。
ハンドセットでの着信操作方法は、衛星端末の取扱説明書をご参照ください。

終話操作

アナログ電話機で通話中に受話器を置くと通話が終わります。
ハンドセットでの通話終了方法は、衛星端末の取扱説明書をご参照ください。

ご注意

アナログ電話機の受話器を上げてから10秒以内に最初のダイヤルボタンを押してください。
※10秒を過ぎた場合は話中音が鳴り発信できなくなりますので一旦受話器を置いておかけ直しください。
次のダイヤルボタンは5秒以内に押してください。マルチアダプタは最後にダイヤルボタンを押してから5秒後に電話をかけ始めます。

ハンドセットとLINE端子に接続したアナログ電話機は先取り優先となります。ハンドセット、LINE1、LINE2のどれか1つが通話中に他の端末機器の受話器を上げると話中音が聞こえます。

FAX通信中に電話はかけられません。FAX通信中に電話がかかってきた場合、マルチアダプタはFAX通信を中断し、ハンドセットおよび待受中のアナログ電話機を呼び出します。
FAX受信中にかかってきた電話を受けた場合は、FAXは電話を切った後に再受信されます。
FAX送信中にかかってきた電話を受けた場合は、お手数ですが通話が終わってからFAXを送りなおしてください。

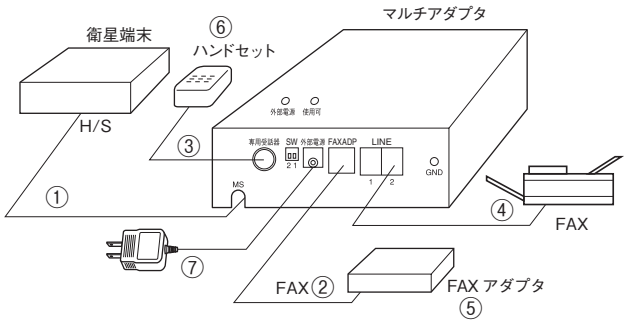
ナンバー・ディスプレイ機能を利用する場合は、ナンバー・ディスプレイ機能に対応した電話機を接続し、電話機のナンバー・ディスプレイ機能をONに設定してください。またマルチアダプタをナンバー・ディスプレイONに設定してください（14ページ参照）
※お使いのアナログ電話機によっては正しく表示されない場合があります。

ナンバー・ディスプレイONに設定したLINE端子に、ナンバー・ディスプレイ非対応の電話端末を接続しないでください。

FAX通信する

※以下は、設定が工場出荷時状態の場合の説明です。

接続図



準　備

衛星可搬端末01と接続して使用する場合、マルチアダプタに必ずACアダプタを接続してください。ACアダプタを接続しないで使用されますと故障の原因となります。
衛星船舶・車載端末01と接続して使用する場合はACアダプタが必要となる場合があります。詳しくは販売担当者とご相談ください。

①マルチアダプタに取り付けた電話ケーブルを衛星端末のH/S端子に接続します。

②マルチアダプタのFAXADP端子とFAXアダプタのFAX端子をモジュラケーブル（市販品）で接続します。

重　要　**マルチアダプタのLINE1端子またはLINE2端子とFAXアダプタのFAX端子を接続すると、機器の故障、火災の原因となりますのでお止めください。**

③マルチアダプタの専用受話器端子にハンドセットを接続します。
（ハンドセットがなくてもFAX機による音声通話、FAX通信は可能です。）

④マルチアダプタのLINE2端子とFAX機の回線端子をモジュラケーブルで接続します。
※工場出荷時状態の設定では、FAX機をLINE1端子に接続すると、FAX着信できませんのでご注意ください。

⑤FAXアダプタの電源スイッチをONにします。

⑥可搬端末の場合は衛星端末またはハンドセットの電源スイッチをONにします。船舶・車載端末の場合は衛星端末の電源スイッチをONにします。

⑦マルチアダプタの外部電源端子にACアダプタを接続します。ACアダプタをコンセントに接続します。

送信操作

使用可ランプが点灯中、FAX送信が可能です。
FAX機に送信する原稿をセットし、受話器を置いたままダイヤルし、スタートボタンを押します。

受話器を上げてダイヤルした場合は、最後のダイヤルボタンに続けてスタートボタンを押してください。
※5秒を超えるとFAX送信できません（音声発信になります）。

受信操作

FAXアダプタから着信が来ると、マルチアダプタはLINE2に接続したFAX機を呼び出します。FAX機が自動受信に設定されていれば、そのまま受信を開始します。

重 要

FAX送受信する場合は「FAXゲートウェイサービス」の申込が必要になります。詳しくは販売担当者、またはドコモ ワイドスターコールセンターへお問い合わせください。

FAX機からFAX情報サービスへダイヤルされる場合、NTTドコモが提供するFAX情報サービス以外へダイヤルしないでください。ダイヤルされてもFAXを受信することができません。

ご注意

ハンドセットとLINE端子に接続したアナログ電話端末は先取り優先となります。
音声通話中にFAX送信はできません。音声通話中にFAX着信がきた場合は、音声通話終了後にFAX機を呼び出します。

FAX着信時、マルチアダプタはLINE端子にナンバー・ディスプレイ信号、ダイヤルイン信号を送出しません。

LINE端子の機能設定

表1：LINE端子 設定一覧表

モード	#ボタン押下	LINE選択	ボタン押下	設定値 (表の数字は初期値) ※A ～ Gの機能は表2参照							ボタン押下	ボタン押下
				A	B	C	D	E	F	G		
1：設定モード 4：確認モード		1：LINE1選択		1	2	1	1	1	1	1		
		2：LINE2選択		1	3	1	1	1	1	1		

表2：LINE端子 設定機能表

	機　能	設定値
A	発信規制	1：発信許可(初期値)
		2：発信禁止
B	着信規制	1：音声着信許可、FAX着信許可
		2：音声着信許可、FAX着信禁止(LINE1初期値)
		3：音声着信禁止、FAX着信許可(LINE2初期値)
		4：音声着信禁止、FAX着信禁止
C	発信者番号通知	1：通知(初期値)
		2：非通知
D	音声発信時極性反転	1：極性反転なし(初期値)
		2：極性反転あり
E	ナンバー・ディスプレイおよびダイヤルイン	1：ナンバー・ディスプレイOFF、モデムダイヤルインOFF、PBダイヤルインOFF(初期値)
		2：ナンバー・ディスプレイON、モデムダイヤルインOFF、PBダイヤルインOFF
		3：ナンバー・ディスプレイOFF、モデムダイヤルインON、PBダイヤルインOFF
		4：ナンバー・ディスプレイON、モデムダイヤルインON、PBダイヤルインOFF
		5：ナンバー・ディスプレイOFF、モデムダイヤルインOFF、PBダイヤルインON
F	フッキング検出	1：OFF(初期値)
		2：ON
G	通話中ダイヤル	1：OFF(初期値)
		2：ON

設定方法

①外部電源端子にACアダプタを接続している場合は、ACアダプタを外してください。ハンドセットの電源スイッチがONの場合はOFFにしてください。衛星端末の電源スイッチがONの場合はOFFにしてください。

②本製品前面のSW2をON(上)にします。

③ハンドセットの電源スイッチをONにしてください。(※)設定モードに入ります。

④ハンドセットのディスプレイにバージョンナンバーが表示されたら ☎ を押します。

⑤ハンドセットから次のようにダイヤルキーを押します。

1 → # → [LINE選択] → ☎ → [設定値(表1および表2参照)] → ☎ → ☎

【例：LINE1にナンバー・ディスプレイONを設定する。】

1 → # → 1 → ☎ → 1 2 1 1 2 1 1 → ☎ → ☎

ナンバー・ディスプレイON

設定された値がハンドセットに表示されます。確認したら ☎ を押します。

⑥ハンドセットから次のようにダイヤルキーを押すと、LINE端子の機能設定を確認できます。

4 → # → [LINE選択] → ☎

現在の設定がハンドセットに表示されます。確認したら ☎ を押します。

⑦ハンドセットの電源スイッチをOFFにしてください。(※)

⑧本製品前面のSW2をOFF(下)にします。

⑨ハンドセットまたは衛星端末の電源スイッチをONにしてください。(※)
①でACアダプタを外した場合は、外部電源端子にACアダプタを接続してください。

※船舶・車載端末の場合は衛星端末の電源スイッチを操作してください。

設定の説明

A：発信規制	LINE端子からの発信を禁止する場合に設定します。
B：着信規制	LINE端子への音声着信、FAX着信を禁止する場合に設定します。LINE1、LINE2共に許可した場合は、LINE1優先となります。
C：発信者番号通知	LINE端子から音声発信するときの発信者番号通知を設定します。
D：音声発信時極性反転	必要としない場合は初期値でご使用ください。
E：ナンバー・ディスプレイおよびダイヤルイン	アナログ電話端末が対応していない機能を選択しないでください。お使いのアナログ電話端末によっては正しく表示されない場合があります。ナンバー・ディスプレイ機能のみ使用する場合は「2」に設定します。ダイヤルインON選択時は着番号通知の下4ケタをダイヤルイン信号として送出します。
F：フッキング検出	初期値でご使用ください。
G：通話中ダイヤル	初期値でご使用ください。PB信号は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。その場合はハンドセットからおかけ直しください。着信時およびFAX通信中は、設定に関わらずPB信号を出力しません。

短縮ダイヤル機能

アナログ電話端末（電話機、FAX）から短縮ダイヤルで電話をかけることができます。
電話帳を持たない電話機からの発信に便利です。

※短縮ダイヤル機能はハンドセットからの発信に使用することはできません。ハンドセットの電話帳をご利用ください。

短縮ダイヤルの登録方法

①外部電源端子にACアダプタを接続している場合は、ACアダプタを外してください。ハンドセットの電源スイッチがONの場合はOFFにしてください。衛星端末の電源スイッチがONの場合はOFFにしてください。

②本製品前面のSW2をON(上)にします。

③ハンドセットの電源スイッチをONにしてください。(※)設定モードに入ります。

④ハンドセットのディスプレイにバージョンナンバーが表示されたら ☎ を押します。

⑤ハンドセットから次のようにダイヤルキーを押します。

3 → # → [短縮ダイヤル番号] → ☎ → [登録する電話番号] → ☎ → ☎

※短縮ダイヤル番号　1～9、0 (10件)
※登録する電話番号　最大15ケタ

登録済みの短縮ダイヤル番号に登録すると、入力した電話番号に上書きされます。
を登録すると登録済みの電話番号を消去します。
登録された電話番号がハンドセットに表示されます。確認したら ☎ を押します。

⑥ハンドセットから次のようにダイヤルキーを押すと、短縮ダイヤルの登録を確認できます。

6 → # → [短縮ダイヤル番号] → ☎

登録された電話番号がハンドセットに表示されます。登録されていない場合は
"ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾐﾄｳﾛｸﾞ" が表示されます。確認したら ☎ を押します。

⑦ハンドセットの電源スイッチをOFFにしてください。(※)

⑧本製品前面のSW2をOFF(下)にします。

⑨ハンドセットまたは衛星端末の電源スイッチをONにしてください。(※)
①でACアダプタを外した場合は、外部電源端子にACアダプタを接続してください。

※船舶・車載端末の場合は衛星端末の電源スイッチを操作してください。

【例：短縮ダイヤルの9番に電話番号 (090−XXXX−XXXX)を登録する。】

3 → # → 9 → ☎ → 0 9 0 X X X X X X X X → ☎ → ☎

短縮ダイヤルを使って電話をかける

アナログ電話端末から発信する場合、電話番号の1ケタ目に [8]、2ケタ目に短縮ダイヤル番号をダイヤルすると、登録済みの相手先に発信します。

【例：短縮ダイヤルの5番に登録した相手先に電話をかける。】

①電話機の受話器を上げる。

②[8] → [5] をダイヤルする。

【例：短縮ダイヤルの1番に登録した相手先にFAXを送る。】

①FAX機に原稿をセットする。

②[8] → [1] をダイヤルし、スタートボタンを押す。

設定の初期化

設定モード中に次のようにダイヤルキーを押すと、LINE端子の機能設定を工場出荷時に戻します。短縮ダイヤルの登録は消去されません。

[0] → [#] → [0] → ☎ → [0] → ☎ → ☎

ハンドセットに "0#0 ｼｮｷｶOK" が表示されます。確認したら ☎ を押します。

設定モード中に次のようにダイヤルキーを押すと、設定モードの全ての設定を工場出荷時に戻します。短縮ダイヤルの登録は全て消去されます。

[9] → [#] → [9] → ☎ → [9] → ☎ → ☎

ハンドセットに "9#9 ｼｮｷｶOK" が表示されます。確認したら ☎ を押します。

DIPスイッチ3の機能

DIPスイッチ3は、誤った設定をされますと通信に支障をきたす場合がありますので、販売担当者とよく相談して変更されることをお勧めいたします。DIPスイッチ3の場所は9ページを参照してください。

DIPスイッチ3 機能一覧表

1	常にOFFでご使用ください	
2	ハンドセット制御 および通話切替規制	LINE端子のどちらかの電話端末で通話・通信中の、ハンドセットの機能制限を設定します。 OFF：ハンドセット、LINE1、LINE2相互の通話切替可能。（初期値） ON：ハンドセット、LINE1、LINE2相互の通話切替不可。 LINE1またはLINE2使用中、ハンドセットのディスプレイには圏外が表示される。
3	ハンドセット着信規制	ハンドセットの着信を規制する。 OFF：着信許可（初期値）ON：着信禁止
4	通話切替手順	DIPスイッチ3－2がOFFの時の、ハンドセットとLINE端子間の通話切替手順を設定します。 OFF：通話に使用していないハンドセットまたはLINE端子に接続した電話端末の受話器を上げ、通話・通信中のハンドセットまたは電話端末の受話器を置くと通話が切り替わります。（初期値） ON：ハンドセットで通話中にLINE端子に接続した電話端末の受話器を上げると、直ちに電話端末に通話が切り替わります。電話端末からハンドセット、または他の電話端末への切り替えはできません。
5	話中音のON・OFF	ハンドセット、またはLINE端子のどちらかの電話端末で通話・通信中に、待機中の電話端末の受話器を上げた時の話中音の送出を設定します。 OFF：話中音を聞かせる（初期値） ON：無音 ※相手がお話し中など、発信操作の後の話中音は設定に関わらず聞こえます。
6	呼出信号の周波数	着信時にLINE端子から出力される呼出信号の周波数を選択する。 OFF：16.6Hz（初期値） ON：20.0Hz ※OFF設定で着信できない電話端末に対し、ON設定に変更すると着信できる場合があります。
7	モバイルハンディFAX設定	OFF：モバイルハンディFAXを使用しない（初期値） ON：モバイルハンディFAXを使用する
8	常にOFFでご使用ください	

モバイルハンディ FAXからFAXを送る

以下の操作はモバイルハンディ FAXを接続してFAX通信する時以外行わないでください。モバイルハンディ FAX通信機能は、モバイルハンディ FAX-P2とモジュラ接続アダプタの組み合わせのみ動作確認済みです。

①13ページの図のように接続してください。
（図中のFAXをモバイルハンディ FAXとします。）
マルチアダプタの電源を切り、DIPスイッチ3の2番をOFF、4番と7番をONに設定してください。設定後、電源を投入してください。

②FAXに原稿を読み込ませてください。

③ハンドセットから次のようにダイヤルキーを押してください。

9 → [相手の電話番号] → ☎

④FAXアダプタが応答し、ピー（CED信号）が聞こえたら、モバイルハンディ FAXの送信ボタンを押してください。

※ピー（CED信号）が聞こえる前にモバイルハンディ FAXの送信ボタンを押さないでください。

定格／仕様

●マルチアダプタ

インターフェース	MS（衛星端末）	角形10芯コネクタ（筐体内基板上）
	専用受話器（ハンドセット）	丸形10芯コネクタ
	FAXADP（FAXアダプタ）	RJ-11 2芯
	LINE1（アナログ電話端末1）	RJ-11 2芯
	LINE2（アナログ電話端末2）	RJ-11 2芯
	外部電源（ACアダプタ）	EIAJクラス4
電源	DC9 ～ 17V（衛星端末、または外部電源から供給）	
消費電流	1A以下 （DC13.8V、ハンドセット、FAXアダプタ、アナログ電話端末×2台接続時）	
外形寸法・重量	134（W）×205（D）×48（H）mm　約1kg	
使用温度・湿度	−20℃～ 60℃　45%～ 85% RH	
コンパス安全距離	標準コンパス：0.5m　操舵コンパス：0.4m	
アナログ電話端末 選択信号	PB、DP（10pps、20pps）	

●ACアダプタ

入　　力	AC100～240V　50／60Hz　0.3A
出　　力	DC12V　1.0A
極　　性	センタープラス
サ　イ　ズ	54（L）×48（W）×26（H）mm
質　　量	約95g（ケーブル含む）
長　　さ	1.6m

●定格／仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがありますのでご了承願います。

**ワイドスターサービスに関する
お問い合わせ先
<ドコモ ワイドスターコールセンター>**

0120-616-360

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

**受付時間　午前9:00 ～午後8:00
年中無休**

**ワイドスターサービスに関する
左記受付時間外のお問い合わせ先**

0120-089-360

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

**受付時間　午後8:00 ～午前9:00
年中無休**

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　ユニペルス株式会社

WLA1版